



## 平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年12月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月28日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年5月期第2四半期の業績 (平成28年5月16日～平成28年11月15日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	9,387	△2.7	289	△31.6	313	△30.3	182	△33.2
28年5月期第2四半期	9,648	6.3	423	△4.3	449	△3.3	273	1.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	66.99	—
28年5月期第2四半期	94.81	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第2四半期	8,416	5,704	67.8	2,090.93
28年5月期	8,906	5,603	62.9	2,053.93

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 5,704百万円 28年5月期 5,603百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年5月期の業績予想 (平成28年5月16日～平成29年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,273	△2.3	568	△37.5	611	△37.3	331	△35.5	121.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年5月期2Q	2,903,600株	28年5月期	2,903,600株
29年5月期2Q	175,390株	28年5月期	175,356株
29年5月期2Q	2,728,238株	28年5月期2Q	2,887,083株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、中国をはじめとしたアジア新興国の経済減速や英国のEU離脱問題などによる世界経済の下振れリスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

外食業界におきましては、消費者の強い節約志向に加え、競合他社のみならず他業種他業態との顧客獲得競争が激化するとともに、食材全般にわたる不足感から仕入価格の高騰傾向が止まず、また、労働需給の逼迫に伴う労働単価の上昇及び人材確保が大きな課題になる等、経営環境はより厳しさを増しております。

このような状況において、販売促進につきましては、「桜島活かんぱち」や「函館真いか」など「産地」と「旬」にこだわった銚子丸らしい商品の提供と、特に当社の主力商品である「まぐろ」にこだわった「生インドまぐろ5カン」に代表される「高品質」かつ「お得感」のあるイベントメニューの充実を図り、お客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

店舗開発につきましては、当第2四半期累計期間において、木場店(平成28年9月)、狛江店(平成28年11月)を新規に出店した結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は94店舗となっております。

しかしながら、第1四半期におけるイベントメニューをはじめとした「お得感」を重視した価格政策に対しては期待通りの反応が見られず、加えて第2四半期における相次ぐ台風と天候不順の影響もあり、当第2四半期累計期間における売上高は93億87百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は2億89百万円(同31.6%減)、経常利益3億13百万円(同30.3%減)、四半期純利益は1億82百万円(同33.2%減)となりました。

(注) 金額に消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ4億89百万円減少し、84億16百万円(前事業年度末比5.5%減)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ4億56百万円減少し、53億60百万円(同7.8%減)となりました。主な内訳は、現金及び預金の減少2億6百万円、売掛金の減少59百万円、棚卸資産の減少56百万円及び預け金の減少1億36百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ33百万円減少し、30億56百万円(同1.1%減)となりました。主な内訳は、店舗設備の新規出店による増加と、減価償却及び減損損失による減少であります。

##### (負債・純資産)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ5億90百万円減少し、27億11百万円(前事業年度末比17.9%減)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ3億81百万円減少し、23億27百万円(同14.1%減)となりました。主な内訳は、買掛金の減少3億59百万円、未払金の減少55百万円、未払法人税等の減少35百万円及び賞与引当金の増加69百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2億9百万円減少し、3億84百万円(同35.3%減)となりました。主な内訳は、長期末払金の減少2億6百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億円増加し、57億4百万円(同1.8%増)となりました。主な内訳は、繰越利益剰余金の増加1億円であります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して2億6百万円減少し、44億84百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は38百万円(前年同期は85百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益2億91百万円、減価償却費1億29百万円、賞与引当金の増加69百万円による資金の獲得及び、仕入債務の減少額3億59百万円、長期末払金の減少額2億6百万円、法人税等の支払額1億63百万円による資金の使用によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億62百万円(前年同期は2億85百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億41百万円による資金の使用によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は82百万円(前年同期は7億25百万円の使用)となりました。これは主にリース債務の返済による支出13百万円及び配当金の支払額76百万円による資金の使用によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降の経営環境につきましては、来年1月の米国の政権交代、アジア新興国の経済減速、英国のEU離脱問題などによる世界経済の下振れの懸念から、経済の先行きは不透明かつ大きなリスクを抱えております。

外食産業においては、消費者の生活防衛意識は依然根強い状況に加え、原材料価格の高止まりや労働需給バランスの悪化などにより、当第2四半期累計期間同様の経営状況が続くものと予測されます。

このような厳しい状況が見込まれるため、平成28年6月28日公表の平成29年5月期通期(平成28年5月16日～平成29年5月15日)の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表の業績予想の修正に係る適時開示資料をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成28年11月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,098,389	4,892,242
売掛金	114,862	55,232
原材料及び貯蔵品	181,660	124,834
その他	421,240	287,801
流動資産合計	5,816,151	5,360,110
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,077,729	1,066,686
その他(純額)	445,246	443,635
有形固定資産合計	1,522,975	1,510,321
無形固定資産	104,920	89,994
投資その他の資産		
敷金及び保証金	875,690	889,160
その他	587,406	567,716
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,462,018	1,455,798
固定資産合計	3,089,915	3,056,114
資産合計	8,906,067	8,416,224
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,161,648	802,213
短期借入金	150,000	159,000
未払金	955,694	900,462
未払法人税等	182,308	146,978
賞与引当金	111,600	181,320
株主優待引当金	33,053	33,588
その他	114,432	104,045
流動負債合計	2,708,738	2,327,609
固定負債		
資産除去債務	204,258	209,781
その他	389,436	174,323
固定負債合計	593,694	384,105
負債合計	3,302,432	2,711,715

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成28年11月15日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	5,797,367	5,898,273
自己株式	△746,413	△746,557
株主資本合計	5,603,734	5,704,496
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△99	13
評価・換算差額等合計	△99	13
純資産合計	5,603,634	5,704,509
負債純資産合計	8,906,067	8,416,224

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年5月16日 至平成27年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年5月16日 至平成28年11月15日)
売上高	9,648,975	9,387,874
売上原価	4,031,802	3,898,571
売上総利益	5,617,173	5,489,303
販売費及び一般管理費	5,193,323	5,199,562
営業利益	423,849	289,741
営業外収益		
受取利息	2,261	1,543
協賛金収入	17,705	16,563
その他	8,967	7,202
営業外収益合計	28,935	25,310
営業外費用		
支払利息	1,524	903
現金過不足	1,147	826
その他	553	0
営業外費用合計	3,225	1,730
経常利益	449,559	313,320
特別利益		
固定資産売却益	1,412	-
特別利益合計	1,412	-
特別損失		
固定資産除却損	2,410	865
減損損失	-	20,457
特別損失合計	2,410	21,323
税引前四半期純利益	448,561	291,997
法人税等	174,847	109,244
四半期純利益	273,714	182,753

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年5月16日 至平成27年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年5月16日 至平成28年11月15日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	448,561	291,997
減価償却費	135,265	129,423
のれん償却額	11,931	10,739
減損損失	-	20,457
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	24,618	25,464
賞与引当金の増減額(△は減少)	70,862	69,720
受取利息及び受取配当金	△2,271	△1,555
支払利息	1,524	903
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,412	-
固定資産除却損	2,410	865
売上債権の増減額(△は増加)	△31,031	59,629
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,661	56,825
仕入債務の増減額(△は減少)	17,526	△359,434
未払消費税等の増減額(△は減少)	△138,211	△23,596
その他	△219,313	△78,568
小計	317,798	202,872
利息及び配当金の受取額	739	288
利息の支払額	△1,550	△874
法人税等の支払額	△231,026	△163,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,960	38,722
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△384,008	△384,090
定期預金の払戻による収入	383,932	384,008
有形固定資産の取得による支出	△244,985	△141,441
長期前払費用の取得による支出	△12	-
敷金及び保証金の差入による支出	△10,351	△5,051
敷金及び保証金の回収による収入	1,154	682
建設協力金の支払による支出	△31,000	△17,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285,271	△162,892
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	450,000	265,000
短期借入金の返済による支出	△330,000	△256,000
リース債務の返済による支出	△20,811	△13,950
自己株式の取得による支出	△745,626	△143
配当金の支払額	△79,142	△76,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△725,580	△82,059
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△924,891	△206,229
現金及び現金同等物の期首残高	5,301,665	4,691,104
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,376,774	4,484,875

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。